

1 子どもの心の診療支援(連携)事業

③

(1) 児童福祉施設訪問実施

- 訪問先: 児童養護施設 2ヶ所
- 母子生活支援施設 1ヶ所
- 乳児院 1ヶ所



(参考) 鳥取県内児童福祉入所施設

児童養護施設	5ヶ所
乳児院	2ヶ所
情緒障害児短期治療施設	1ヶ所
自立支援施設	1ヶ所
母子生活支援施設	5ヶ所



③ 児童福祉施設への支援

(2) 臨床心理士による施設訪問実施

- 児童養護施設、児童自立支援施設等に出向き、事例検討会に参加する他、職員へのコンサルテーションを行う。

児童自立支援施設を週1回訪問(H20年度)

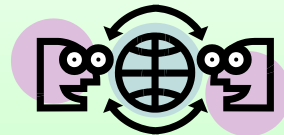
- ・職員コンサルテーション 6回
- ・事例検討会 3回
- ・合同研修会 1回



* H21年度は、同様の内容を施設非常勤職員として勤務して実施

④ その他

他県との情報交換



H21.5月 神奈川県立こども医療センターに出向き、情報交換



[子どもの心の診療支援(連携)事業の評価]



- ネットワーク会議を設置したことで、医療と保健、福祉、教育との連携体制をとるための共通理解が図れた。
- H21年度は、子どもの心の課題に関する医療支援マップの作成に着手したり、既存の事例検討会へ参加するなど、具体的な連携に関する取り組みにつながった。
- 拠点病院内に事業運営チームを設置したことで、拠点病院としての事業の企画や検討に機動性が増した。
- 他県を視察し、情報交換を行ったことで、今後の取り組みの参考となった。
- 心理士の施設訪問により、施設職員にとって、心理士からの視点による子どもの見方が子どもへの施設内支援の幅を広げることにつながった。

2 子どもの心の診療関係者研修事業

- ① 医師に対する研修
- ② 地域支援・フォローアップ人材の育成

2 子どもの心の診療関係者研修事業



① 医師に対する研修

(1) H21.2.14(土)、H21.6.27(土)



地域の開業医が発達障がい児の理解を深め、その診療を行うための普及研修会

講師：鳥取大学医学部脳神経小児科 大野耕策教授

演題：学習の遅れやこころの問題をおこしやすい「発達障害」

参加者：約40名、約100名

(2) H21.11.1(日) 鳥取県医師会第1回学校医・学校保健研修会

講師：鳥取大学医学部脳神経小児科 大野耕策教授

演題：学習の遅れやこころの問題をおこしやすい「発達障害」

参加者：約100名



2 子どもの心の診療関係者研修事業

② 地域支援・フォローアップ人材の育成

(1) 家庭療育支援講座(ペアレントトレーニング)実施

- ・ 対象: 知的障害児通園施設、児童デイサービス利用児の保護者
- ・ 期間: 全6回(約3ヶ月:2週に1回) 年2回ずつ実施
- ・ 参加人数: 7人~11人/1回
- ・ スタッフ: 井上雅彦氏、大学院学生、本事業推進室スタッフ等



(2) PARS講習会実施

- ・ 対象: 医師、保健師、専門職
- ・ 講師: 辻井 正次氏(中京大学現代社会学部教授)
- ・ 参加者: 60名

(3) AD/HD児への効果的な支援のあり方(くるめSTP)実施

- ・ 対象: 教育、医療、心理、福祉の専門家及び学生
- ・ 講師(NPO法人くるめSTPスタッフ)
 - 山下裕史朗氏(久留米大学医学部小児科准教授)
 - 向笠 章子氏(聖マリア病院臨床心理士)
 - 赤星 清美氏(久留米市立久留米養護学校)
 - 他臨床心理士3名
- ・ 参加者: 85名



[子どもの心の診療関係者研修事業の評価]



- 地域医師の関心が高まり、県医師会からの「発達障がい」等に関する研修会開催の依頼につながった。
- ペアレントトレーニングを通じて、保護者の子どもへのかかわり方の能力が高まりつつある。
- 支援者側である専門職に様々な支援の方法を紹介することができた。
- ★ 今後は、医師だけでなく、保健師、児童福祉施設職員に向けての研修を計画。
- ★ ペアレントトレーニングでは、ファシリテーターを養成し、身近な地域でも実施できるように計画。
- ★ 研修等については、拠点病院がある圏域(県西部)での開催がほとんどであったが、今後は、その他の圏域(県東部、中部)でも開催も検討し、全県の支援者のスキルアップ、レベルアップを図ることを検討。
- ★ 健診で使えるパンフレットや保護者支援テキストの作成を計画。

3 普及啓発・情報発信事業

- ① 普及啓発フォーラム、講演会
- ② 普及啓発ホームページ

3 普及啓発・情報発信事業

① 普及啓発フォーラム、講演会

(1) H21.3.20(祝・金) 事業受託記念講演会(約300名)

[講演] 加藤 進昌氏 「こどもの心と脳のはたらき
～アスペルガー症候群の脳科学から～」

(2) H21.5.30(土) 第51回日本小児神経学会 市民公開講座(約550名)

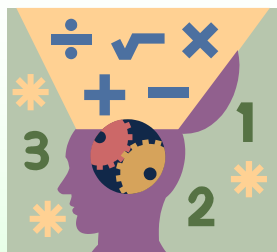
(思春期の子どもに関するフォーラム)

[講演] 香山 リカ氏 「思春期のこころと現代」

[シンポジウム]

「発達障害とこころの問題」

- ・奥山真紀子氏(国立成育医療センター)
- ・汐田まどか氏(県立総合療育センター)
- ・千羽鶴氏(当事者保護者会)
- ・井上雅彦氏(鳥取大学院医学系研究科)



(3) H22.1.10(日) 拠点病院事業普及啓発フォーラム(約180名)

[講演] 杉山 登志郎氏 「発達障害から発達凸凹へ」